

平成24年度 第1回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事録			
日時 : 平成24年 7月10日(火) 15:00~16:00 場所 : 事務所4階第1会議室			
当 方	別添 配布資料中出席者名簿のとおり	先 方	
配布資料	添付のとおり		
要 旨	<p>○岡山県の新渋滞ポイント策定にあたっての背景と方針説明を行った。  ○次回部会(7月下旬)で新渋滞ポイント候補案の決定を行う。  ○7月13日までに渋滞ポイントの追加要望を各員から提出してもらう。</p>		
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の新渋滞ポイント策定にあたっての背景と方針について説明。</li> <li>・全国統一基準である1軸、1'軸の考え方、岡山県に適用した場合の渋滞ポイント候補について説明。</li> <li>・全国基準に加えて岡山県の地域特性を反映出来るような指標・考え方があればご意見を頂きたい。</li> </ul>		
委員	<p>パブリックコメントを実施するにあたって、県内各交差点の混雑具合を併せて提示しなければ、住民の方は自分の周囲の混雑箇所が県内でどの程度の位置にあるかが分からず、意見を出しにくいのではないかと懸念を述べた。</p>		
事務局	<p>パブリックコメントのやり方については、ご意見を踏まえて今後検討していく。</p>		
委員	<p>今後、地域の道路混雑状況を反映していくということだが、1軸、1'軸のみ、定量的な指標でもって抽出するのか。</p>		
事務局	<p>1軸、1'軸は評価指標として渋滞損失を用いているが、この指標では交通量が大きい路線が抽出されやすくなる傾向がある。しかし、交通量が比較的少ない路線であっても渋滞している箇所は多数存在するため、地域の実情を反映できるような定量的な指標として2軸を新たに設定し、それによって評価することを考えている。</p>		
委員	<p>倉敷市は倉敷駅の北側が開発によって様子かなり変わっているが、渋滞損失の計算に用いているデータはどのようなデータを用いているのか。</p>		
事務局	<p>H22センサスのデータを用いて算出している。倉敷駅周辺の開発状況の変化は承知しており、現地状況の変化についてプローブデータの更新で反映できないか検討する。</p>		
委員	<p>渋滞によりバスの定時性確保が困難。今後、新渋滞ポイントとして選定された箇所について、どのような対策を検討していくのか。</p>		
事務局	<p>ソフト面・ハード面両方での対策を考えている。具体的な案については新渋滞ポイントの策定後、各道路管理者他で検討していくことになる。</p>		
会長	<p>第2回の部会で新渋滞ポイントとする候補案を提示し、その後パブリックコメントを実施する予定。混雑状況の実態を反映していきたいと考えているので、本日の会議の中でもご意見を頂きたい。</p>		

委員	中央交差点や唐船交差点は相当混雑している。
事務局	ご意見いただいた箇所について、2軸の評価指標を含めて混雑状況の実態の反映について検証していきたい。
委員	今回の新渋滞ポイント策定作業はH22年度のデータで検討を進めていくのか。
事務局	H22年度センサスのデータを使用して検討していく。旅行速度については、出来るだけ最新の民間プローブデータを用いて更新していきたい。
事務局	次回の部会を7月の下旬に開催し、そこで素案を決定したいと考えている。
	以上